書式第12号(法第28条関係)

事業報告用

2025年度　　事業報告書

特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ

1　事業の成果

2025年度は、法人として8期目を迎え、2023年度に掲げた「第二次中期計画(2023–2025年度)」の最終年度として、「各事業の推進」と「それらを可能とするガバナンス強化」、「2025年度以降の方針・戦略の策定」の検討を進めました。

本年度の活動においても、「つながりを実感できる地域社会の実現」を目的とした「インパクト重視の創造的な事業展開による社会のバージョンアップ」を目指し、「インパクト志向」「創造性」をキーワードに据えて事業推進を図りました。

当団体は、創造的な事業展開を行うことで資源の地域内循環を高め、地域に暮らす個人やその地域で活動する企業・団体等がこども食堂の活動に参画・応援する仕組みをつくることが、こども食堂の普及と持続性の向上につながると考え、各種の事業を推進してきました。

(地域ネットワーク団体支援事業)

全国を6ブロックに分けた地域への伴走支援体制を整備し、地域事情に応じた地域伴走を行いました。

地域への伴走においては、組織内部のナレッジ共有を促進するデータベースなどの仕組みの再構築や、伴走支援力の習得プログラムの高度化・実践により、組織全体の伴走支援実行体制を強化しました。

また、休眠預金活用事業や伴走支援基金プロジェクトを通じて、個別団体向けに資金的・非資金的支援を実施し、事業推進や組織基盤強化を支援しました。

さらに、地域ネットワーク団体同士の相互の多面多層的な交流・学び合いの場づくりを通じて、ピアサポートを促進しました。

(企業・団体との協働事業)

第二次中期計画で掲げてきた、企業・団体・行政(政府・自治体)等あらゆるステークホルダーとの伴走体制の整備を進め、多世代交流や資源の地域内循環を促進し、継続的な地域の未来を創造するための共創的な関係構築と地域・社会のエコシステム強化に取り組みました。

具体的には、大阪・関西万博への出展を通じ、こども食堂のこれまでの成果や価値を発信するとともに、多様な主体への理解促進や協働機会づくりを行いました。また、経済同友会等との連携を行い、長期化する物価高騰対策・コメ支援等において、企業・団体等からの物資支援を拡大し、地域への資源循環を推進しました。さらに、「こどもの居場所づくり」に関心を持つ自治体との関係構築を進め、複数自治体との連携協定や協働関係の構築を行いました。こども食堂が地域のハブとなり、多様なステークホルダーによって資源が循環する活動の推進と、「こども食堂が大事にしていること」の理解促進に取り組みました。

(調査研究事業)

第二次中期計画の最終年度として、こども食堂の「普及促進(あたりまえ化・インフラ化)」に向けて、運営実態や価値の可視化に取り組みました。

運営実態の可視化については、「こども食堂箇所数調査」「こども食堂の実態・困りごと調査」「こども食堂認知調査」を実施し、調査分析結果をむすびえや多様なステークホルダーの事業・活動の改善・創出につなげました。

価値の可視化については、こども食堂や居場所が、個人や地域において果たす価値・機能を明らかにするため、定性的・定量的な視点をはじめとする多角的な視点で調査研究に取り組み、その成果の社会実装を進めました。

また、記者発表や成果報告会など、様々な場や機会を通じてこども食堂の実態や価値などを社会全体に積極的に発信し、認知・理解の醸成を図りました。

さらに、エビデンスに基づく社会への発信力を高めるため、外部研究機関等との連携を強化して科学的根拠(エビデンス)の担保に努めるとともに、蓄積されたデータの利活用や再分析などの取り組みを本格化させました。

(広報啓発事業)

より一層こども食堂の正しい理解を促進していくための広報や、社会づくりを目指した啓発活動に注力するため、引き続き広報啓発事業部門として活動を促進しました。 自団体の基盤強化のみならず、各地域で自律的な資金循環が促されるよう、地域での遺贈寄付研修の開催や、公益信託の設立に向けた検討を進めました。

そして、より多くの関心と活動への参加・協働を促進していくために、サポーター交流会の開催、IMM（Impact Measurement and Management）チームと連携した自団体の活動成果の可視化と支援者・社会へのフィードバックを行いました。あわせて、こども食堂等の認知・実態調査等の定量情報や、こども食堂での参加者・運営者・地域の変化のエピソード等の定性情報の発信、公共広告の活用等を通じて、こども食堂を通じた地域・社会づくりの促進を図りました。

(こども食堂等への支援事業)
全国のこども食堂が安定して活動を継続・発展できるよう、資金的支援および非資金（物資や運営の工夫などの情報等）的支援の両面から多角的なサポートを展開しました。
資金的支援においては、物価高騰等の影響を受けるこども食堂の運営基盤を支えるため、多様な助成プログラムを実施しました。これにより、こども食堂等約2,000箇所に対して、総額約1.6億円の資金的支援を行いました。
また、非資金的支援においては、こども食堂の安全な運営や、地域における持続可能な居場所づくりの推進を目的とした研修・交流事業に注力しました。具体的には、災害時に備える「防災研修」や業務効率化を目指す「IT活用支援」自立的な資金調達を学ぶ「ファンドレイジング研修」等を開催しました。
これらの取り組みを通じて、各こども食堂の組織力・運営力の向上を伴走型で支援するとともに、団体間のネットワーク構築と地域における居場所づくりのさらなる推進に貢献しました。

2　事業の実施に関する事項
（1）特定非営利活動に係る事業　　（事業費の総費用【1,006,510】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費（千円）
こども食堂の中間支援団体(地域ネットワーク団体)に対する支援事業	・中間支援団体(地域ネットワーク団体)に対する資金的非資金的支援を実施。 ・全国の地域ネットワーク団体相互の情報交換の機会を定期的に創出し、人材の交流や協働を生み出し地域資源の循環を促進した。 また「休眠預金活用事業」や「伴走支援基金」「地域別伴走体制構築」等を通じた地域ネットワーク団体へ地域事情・団体個別事情に応じた事業推進支援・組織基盤強化支援を実施した。	●オンライン情報交換会:毎月 ●リアル情報交換会:2月 ●個別伴走支援:毎月	全国	100人	全国の地域ネットワーク団体及び各県のキーパーソン自治体関係者等500人ならびに、全国の地域ネットワーク団体を通じた間接的支援を含む全国のこども食堂の運営者10,000人	約10,000人	290,250
こども食堂支援に関する企業・団体との協働事業	多様なこども食堂のニーズに応じるための既存のこども食堂の支援企業等との連携・協働事業の強化すると同時に、持続可能な運営を実現するために、業界単位での働きかけにも注力した。	●企業・説明会:年24回 ●各種展示会:年2回 ●各種業	全国	100人	全国の地域ネットワーク団体及び各県のキーパーソン自治体関係者等500人な	約12,000人 800社	190,309

	特に長期休み前（夏休み・冬休み・春休み）期間において、経済同友会と協働で発信した「長期休みこども食堂応援わくわくギフト」が定番化。毎回20社前後の企業から支援物資を寄贈いただく取り組みにつながった。 ■居場所の普遍的アクセスを確保するための業界連携 ・飲食店 飲食店向けこども食堂応援ツール「お店でこども食堂スタートブック」をむすびえHPにて公開、オンライン事例共有会を実施 ・高齢者施設 社会福祉施設におけるこども食堂実施事例紹介オンラインセミナーを実施 ・宗教施設 「宗教施設×こども食堂 防災・地域共生のこれから」オンライン報告会を実施 ■自治体との居場所づくりに関する協働 自治体向けこどもの居場所づくり支援プロジェクトを発足。 以下自治体との連携を開始 ・愛知県高浜市 ・沖縄県 ・新潟県妙高市 ・京都府長岡京市	界との意見交換や講演:38回 ●政府関係府省庁との意見交換:12回 ●「居場所づくりに関する自治体と連携協働:4自治体			らびに、全国の地域ネットワーク団体を通じた間接的支援を含む全国のこども食堂の運営者12,000人 支援企業・団体800社		
こども食堂に関する調査研究事業	■こども食堂の実態の把握に向けて、全国箇所数調査、実態・困りごと調査、認知度調査等の定点調査などを実施。 地域ネットワーク支援事業、企業・団体との協働事業と連携を図り、既存事業の改善・拡充や新規事業の創出につなげた。 ■こども食堂や居場所についての価値の可視化に向けて、多面的な視点で外部研究者・実践者等ご連携しつつ、定性的・定量的な調査研究に取り組んだ。	●全国箇所数調査:9~10月 ●実態・困りごと調査、認知度調査:7～8月 ●こども食堂・居場所の価値の可視化等に向けた調査	全国	100人	こども食堂および全国各地の地域ネットワーク 団体および各都道府県キーパーソン 一般市民30万人	約30万人	89,143

		研究:4~3月					
こども食堂に関する広報啓発事業	より一層こども食堂の正しい理解(貧困対策のみならず、多くは子どもを中心に幅広い世代の人たちが食を通じて交流する「みんなの居場所」となっていること。 さらには地域のにぎわいづくりや高齢者の生きがいづくり、孤独孤立や貧困などの課題の改善にも寄与していること)を促進していくための広報や社会づくりを目指した啓発活動にも注力していくために、引き続き、広報啓発事業部門として活動を促進。 こども食堂を通じた地域・社会づくりを促進していくために、自団体からの広報のみならず、公共広告の活用等を通じた啓発事業を推進する。 また、地域ネットワーク団体や支援企業他事業部門と連携し、定量・定性情報を生かした発信を強化。 海外展開については、2025年度は、大阪万博を通じたこども食堂を海外発信し、より多くの活動の展開を推進した他、海外メディアからの取材、インタビューを通じて発信を強化した。	●HPの更新、SNSを通じた情報発信(ほぼ毎日) ●プレスリリースやメールマガジンの作成・配信(月1～3回程度) ●AC広告を活用した発信(随時)・記者発表、記者懇談会の開催1回 ●オンライン/オフラインイベント等の開催(月1~3回程度) ●大阪万博での発信(8月)	全国・海外	100人	一般市民100万人	約100万人	193,584
こども食堂等への支援事業	こども食堂の運営団体に対して、資金・非資金的支援を行う事業。 非資金的支援としてはこども食堂の運営者同士が相互に情報交換を行う交流機会を創出する。	●こども食堂への運営支援 ●立ち上げ支援の助成事業:年間を通じて計11回	全国	30人	全国のこども食堂の運営者約10,000人と参加者1,500万人	約10,000人1,500万人	243,224

	さらに、こども食堂の活動が持続可能な取り組みとなるよう、団体の組織基盤の強化やガバナンス強化に資する取り組み、こども食堂が安心・安全の場となるような防災やIT支援等の研修会・学習会の開催などを推進していく。	●交流機会の創出:オンライン9月3月の年2回 ●ファンドレイジング講座:9～12月2回 ●防災研修:4月～3月の年6回 ●IT支援講座:8月2月の年2回					

書式第１３号（法第２８条関係）

事業報告用

2025年度　活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ

（単位：円）

科目	金　額	小計・合計
【A】　経　常　収　益		
1　受取会費		200,000
正会員受取会費	200,000	
2　受取寄附金		1,197,011,852
受取寄附金	1,159,401,852	
資産受贈益	37,610,000	
3　受取助成金等		104,302,809
受取民間助成金	95,550,263	
受取国庫補助金	8,752,546	
4　事業収益		61,402,401
（1）地域ネットワーク支援	8,406,575	
（2）企業・団体との協働	39,229,062	
（3）調査研究	3,403,138	
（4）広報啓発	143,151	
（5）こども食堂等支援	10,220,475	
5　その他の収益		5,667,005
受取利息	1,008,100	
為替差益	698,904	
資産受贈益	549,622	
雑収益	3,410,379	
経　常　収　益　計		1,368,584,067
【B】　経　常　費　用		
1　事業費		
（1）人件費		249,292,415
役員報酬	6,095,238	
給料手当	205,322,686	
法定福利費	37,874,491	
（2）その他経費		757,217,439
支援用食料品費	20,796,606	
支援用消耗品費	505,557	
広報啓発費	62,019,561	
業務委託費	266,978,377	
売上原価	16,004	
謝金	7,681,769	
食料品購入費	231,537	
印刷製本費	2,115,634	
会議費	227,619	
交際費	119,872	
旅費交通費	28,834,396	
通信運搬費	2,775,804	
消耗品費	772,772	
地代家賃	8,631,376	
賃借料	1,641,176	
保険料	1,960	

	諸会費	370,999	
	租税公課	24,355	
	研修費	820,181	
	支払手数料	38,156,481	
	支払助成金	283,237,187	
	支払寄付金	30,300,000	
	新聞図書費	620,345	
	システム関連費	275,000	
	催事費	15,000	
	雑費	47,871	
事業費計			**1,006,509,854**
2　管理費			
（1）人件費			**31,316,267**
	役員報酬	2,714,287	
	給料手当	23,844,163	
	法定福利費	4,757,817	
（2）その他経費			**73,938,590**
	支払報酬料	300,000	
	業務委託費	45,138,429	
	福利厚生費	247,193	
	印刷製本費	296,602	
	旅費交通費	1,276,221	
	通信運搬費	1,233,536	
	消耗品費	443,732	
	修繕費	227,260	
	水道光熱費	33,000	
	地代家賃	1,620,624	
	賃借料	130,424	
	減価償却費	20,155	
	諸会費	39,600	
	租税公課	4,843,705	
	研修費	12,000	
	支払手数料	14,617,563	
	新聞図書費	9,436	
	支払利息	3,331,700	
	リース料	113,410	
	雑費	4,000	
管理費計			**105,254,857**
経　常　費　用　計			**1,111,764,711**
当　期　経　常　増　減　額　【A】－【B】　・・・①			**256,819,356**
【C】　経　常　外　収　益			
	受取配当金	300	
経　常　外　収　益　計			**300**
【D】　経　常　外　費　用			
経　常　外　費　用　計			**0**
当　期　経　常　外　増　減　額　【C】－【D】　・・・②			**300**
税　引　前　当　期　正　味　財　産　増　減　額　①+②　・・・③			**256,819,656**
	法人税、住民税及び事業税　・・・④		70,000
	前期繰越正味財産額　・・・⑤		372,158,709
次　期　繰　越　正　味　財　産　額　③－④+⑤			**628,908,365**

書式第１５号（法第２８条関係）

事業報告用

2025年度　貸借対照表

特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ

（単位：円）

科目	金　額	小計・合計
【A】　資　産　の　部		
1　流動資産		
現金預金	1,161,471,776	
商品	36,665	
貯蔵品	1,650,260	
前渡金	726,000	
未収入金	81,083,759	
未収補助金	5,230,000	
未収助成金	16,482,912	
立替金	96,128	
前払費用	1,057,723	
仮払金	101,050	
流動資産合計　・・・①		1,267,936,273
2　固定資産		
（1）有形固定資産		264,217
工具器具備品	264,217	
（2）無形固定資産		0
	0	
（3）投資その他の資産		31,914,500
東大寄附講座基金特定資産	30,000,000	
出資金	115,000	
差入保証金（長期）	1,799,500	
固定資産合計　・・・②		32,178,717
【A】資　産　合　計　①+②		1,300,114,990
【B－1】　負　債　の　部		
1 流動負債		
1年以内返済長期借入金	19,800,000	
未払金	28,632,480	
未払費用	36,157,760	
未払助成金	154,157,692	
前受金	140,140	
預り金	32,327,629	
仮受金	1,524	
未払法人税等	70,000	
未払消費税等	3,692,600	
流動負債合計　・・・③		274,979,825
2　固定負債		
長期前受金	83,826,800	
役員借入金	170,000,000	
長期借入金	142,400,000	
固定負債合計　・・・④		396,226,800
負　債　合　計　③+④		671,206,625

【B－2】 正味財産の部			
	前期繰越正味財産額	372,158,709	
	当期正味財産増減額	256,749,656	
正味財産合計			628,908,365
【B】 負債及び正味財産合計 【B－1】＋【B－2】			1,300,114,990

書式第１６号（法第２８条関係）

2025年度　計算書類の注記

事業報告用

特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ

1．重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

（1）棚卸資産の評価基準及び評価方法

移動平均法による低価基準によっています。

（2）施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受入れはありましたが、そのサービスに関する会計上の処理は行わず、計算書類の注記も活動計算書の計上もしていません。

（3）ボランティアによる役務の提供の会計処理

ボランティアによる役務の提供はありましたが、その役務の提供に関する会計上の処理は行わず、計算書類の注記も活動計算書の計上もしていません。

（4）消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込経理方式によっています。

2．事業費の内訳

（単位：円）

科目	特定非営利活動に係る事業					合計
	地域ネットワーク支援	企業・団体との協働	調査研究	広報啓発	こども食堂等支援	
（1）人件費						
役員報酬	1,757,699	1,152,479	539,834	1,172,309	1,472,917	6,095,238
給料手当	57,466,680	62,627,178	23,816,395	32,100,836	29,311,597	205,322,686
法定福利費	10,921,956	7,161,257	3,354,414	7,284,475	9,152,389	37,874,491
人件費計	70,146,335	70,940,914	27,710,643	40,557,620	39,936,903	249,292,415
（2）その他経費						
支援用食料品費	0	13,351,230	0	3,000,000	4,445,376	20,796,606
支援用消耗品費	117,587	387,970	0	0	0	505,557
広報啓発費	0	212,291	0	61,807,270	0	62,019,561
売上原価	0	0	0	0	16,004	16,004
業務委託費（むすびえメンバー）	14,960,460	35,990,102	11,059,897	22,139,018	25,324,437	109,473,914
業務委託費（外部委託）	48,414,520	51,101,429	14,629,059	32,505,124	10,854,331	157,504,463
謝金	2,844,592	2,547,360	1,360,852	163,000	765,965	7,681,769
食料品購入費	19,042	155,135	0	0	57,360	231,537
印刷製本費	360,438	269,770	36,745	466,248	982,433	2,115,634
会議費	63,238	105,124	2,576	10,705	45,976	227,619
交際費	25,967	89,594	487	1,058	2,766	119,872
旅費交通費	16,467,892	7,155,117	2,629,199	1,120,319	1,461,869	28,834,396
通信運搬費	338,498	468,662	12,552	1,804,884	151,208	2,775,804
消耗品費	130,801	475,203	20,157	119,604	27,007	772,772
地代家賃	2,489,051	1,632,009	764,451	1,660,089	2,085,776	8,631,376
賃借料	572,659	276,144	13,049	161,608	617,716	1,641,176
保険料	1,960	0	0	0	0	1,960
諸会費	140,373	36,471	12,399	87,925	93,831	370,999
租税公課	2,710	3,046	103	18,306	190	24,355
研修費	134,622	506,641	39,359	37,697	101,862	820,181
支払手数料	3,413,837	3,792,777	549,735	27,804,524	2,595,608	38,156,481
支払助成金	129,580,208	0	0	0	153,656,979	283,237,187
支払寄付金	0	300,000	30,000,000	0	0	30,300,000
新聞図書費	23,928	477,400	0	119,017	0	620,345
システム関連費	0	0	275,000	0	0	275,000
催事費	0	0	15,000	0	0	15,000
雑費	885	35,110	11,876	0	0	47,871
その他経費計	220,103,268	119,368,585	61,432,496	153,026,396	203,286,694	757,217,439
合計	290,249,603	190,309,499	89,143,139	193,584,016	243,223,597	1,006,509,854

業務委託費（むすびえメンバー）は業務準委任契約、業務委託費（外部委託）は請負契約です。

3．使途等が制約された寄附金等の内訳
使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。

当法人の正味財産は628,908,365円ですが、そのうち250,985,070円は、下記のように使途が特定されています。
したがって使途が制約されていない正味財産は377,923,295円です。

（単位：円）

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
休眠預金通常枠 2020	1,655,695	0	1,655,695	0	当期減少額は、事業終了により使途等の制約がなくなったため。
休眠預金通常枠 2021	45,637,551	8,887,122	54,524,673	0	当期増加額は、実行団体からの助成金の返金等。当期減少額は、事業経費の支出のほか、事業終了により使途等の制約がなくなったため。
休眠預金通常枠 2022	112,677,209	113,700,000	84,684,086	141,693,123	当期増加額は、助成金総額103,700,000円、自己資金入金10,000,000円。
休眠預金通常枠 2023	73,151,727	103,816,800	86,329,349	90,639,178	当期増加額は、助成金総額95,816,800円、自己資金入金8,000,000円。
休眠預金活動支援団体枠 2023	8,342,680	29,807,447	25,868,958	12,281,169	当期増加額は、助成金総額22,790,000円、自己資金入金7,000,000円等。
JPF休眠預金災害支援用	0	13,568,890	7,197,290	6,371,600	当期増加額は、助成金総額11,068,890円、自己資金入金2,500,000円。
合計	241,464,862	269,780,259	260,260,051	250,985,070	

4．固定資産の増減内訳

（単位：円）

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
工具器具備品	0	284,372	0	284,372	20,155	264,217
投資その他の資産						
東大寄附講座基金特定資産	60,000,000	0	30,000,000	30,000,000	0	30,000,000
出資金	15,000	100,000	0	115,000	0	115,000
差入保証金	2,909,500	1,706,000	2,816,000	1,799,500	0	1,799,500
合計	62,924,500	2,090,372	32,816,000	32,198,872	20,155	32,178,717

貸借対照表の固定資産（3） 投資その他の資産に計上されている「東大寄附講座基金特定資産」は、
GMOあおぞらネット銀行 普通預金です。

5．借入金の増減内訳

（単位：円）

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金	100,000,000	0	100,000,000	0
1年以内返済長期借入金	15,800,000	19,800,000	15,800,000	19,800,000
役員借入金	200,000,000	20,000,000	50,000,000	170,000,000
長期借入金	32,200,000	127,000,000	16,800,000	142,400,000
合計	348,000,000	166,800,000	182,600,000	332,200,000

6．役員及びその近親者との取引の内容
役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

（単位：円）

科目	計算書類に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人との取引
（活動計算書）			
正会員受取会費	200,000	30,000	0
受取寄附金	1,159,401,852	5,128,541	0
給料手当	229,166,849	15,799,524	0
活動計算書計	1,388,768,701	20,958,065	0
（貸借対照表）			
役員借入金	170,000,000	170,000,000	0
貸借対照表計	170,000,000	170,000,000	0

7．その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・ 事業費と管理費の按分方法

事業費と管理費に共通する経費のうち、役員報酬、給料手当、法定福利費、業務委託費及び地代家賃については従事割合等に基づき按分しています。

・ 業務委託費

事業費と管理費の業務委託費には、請負契約分と業務準委任契約分が含まれています。

・ 預金口座の用途

預金口座	用途
住信ＳＢＩネット銀行 普通預金	法人の代表口座
住信ＳＢＩネット銀行 外貨普通預金	海外からのドル送金のための口座
ゆうちょ銀行 通常貯金	法人の代表口座
ゆうちょ銀行 振替口座	払込用紙による寄附金の受け入れ口座
三菱ＵＦＪ銀行 普通預金	カゴメみらいやさい財団の助成金専用口座
GMOあおぞらネット 普通預金	法人の代表口座
GMOあおぞらネット 普通預金	休眠預金等活動事業2022年度通常枠専用口座
GMOあおぞらネット 普通預金	事業収益の入金用口座
GMOあおぞらネット 普通預金	遺贈寄付で受け入れた資産の遺留分引当のための口座
GMOあおぞらネット 普通預金	東大寄附講座基金特定資産を管理するための口座
GMOあおぞらネット 普通預金	休眠預金等活動事業2023年度通常枠専用口座
GMOあおぞらネット 普通預金	支払用の口座
GMOあおぞらネット 普通預金	休眠預金等活動事業2023年度活動支援枠専用口座
GMOあおぞらネット 普通預金	ノーツ財団用の口座
GMOあおぞらネット 普通預金	借入用の口座
西武信用金庫	借入用の口座
西武信用金庫	JPF休眠預金災害支援用
第一勧業信用組合	法人の代表口座

書式第１７号（法第２８条関係）

事業報告用

2025年度　財産目録

特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ

（単位：円）

科目	金　額	小　計	合　計
【A】　資　産　の　部			
1　流動資産			
現金預金		1,161,471,776	
現金	10,000		
住信ＳＢＩネット銀行 普通預金	380,164,384		
住信ＳＢＩネット銀行 外貨普通預金	6,538,617		
ゆうちょ銀行 通常貯金	124,165,365		
ゆうちょ銀行 振替口座	52,748,712		
三菱ＵＦＪ銀行 普通預金	64,327		
GMOあおぞらネット銀行　普通預金	24,430,146		
GMOあおぞらネット銀行　普通預金	141,693,123		
GMOあおぞらネット銀行　普通預金	55,974,574		
GMOあおぞらネット銀行　普通預金	20,043,023		
GMOあおぞらネット銀行　普通預金	93,406		
GMOあおぞらネット銀行　普通預金	90,639,178		
GMOあおぞらネット銀行　普通預金	201,759		
GMOあおぞらネット銀行　普通預金	12,281,169		
GMOあおぞらネット銀行　普通預金	997		
GMOあおぞらネット銀行　普通預金	67,128,536		
西武信用金庫　普通預金	128,915,765		
西武信用金庫　普通預金	6,371,600		
第一勧業信用組合　普通預金	50,007,095		
商品		36,665	
防災マニュアル	36,665		
貯蔵品		1,650,260	
ACポスター	142,496		
お店でこども食堂スタートブック	285,409		
インタビューブックつながり調査冊子	5,380		
こども食堂エピソードブック1	20,278		
こども食堂エピソードブック２	4,143		
ステッカー	50,000		
切手・はがき	466,604		
防災クイズ（休眠預金事業）	507,487		
防災パンフレット（休眠預金事業）	78,262		
防災マニュアル（休眠預金事業）	80,837		
３つ折りパンフレット「こども食堂ってどんなところ？」	9,364		
前渡金		726,000	
ファンドレイジング・スクール	726,000		
未収入金		81,083,759	
寄附金	26,496,741		
事業収益	23,970,708		
助成金の原資	30,616,310		
未収補助金		5,230,000	

こども家庭庁　令和７年度見守り体制強化促進のための広報啓発事業費補助金	2,380,000		
内閣官房　孤独・孤立対策担当室　令和７年度孤独・孤立対策担い手育成支援事業交付金残金	2,850,000		
未収助成金		16,482,912	
休眠預金通常枠2022　実行団体からの返金	16,482,912		
立替金		96,128	
年末調整還付金	96,128		
前払費用		1,057,723	
業務委託料	148,500		
賃料	93,500		
webプロモーション運用費	815,723		
仮払金		101,050	
立替経費仮払い	101,050		
流動資産合計　・・・①			**1,267,936,273**
２　固定資産			
（１）有形固定資産			
工具器具備品		264,217	
カメラ	131,175		
ノートパソコン	133,042		
（２）投資その他の資産			
特定資産		30,000,000	
東大寄附講座基金特定資産	30,000,000		
出資金		115,000	
組合加入金	115,000		
差入保証金		1,799,500	
事務所保証金	1,799,500		
固定資産合計　・・・②			**32,178,717**
【A】資　産　合　計　①+②			**1,300,114,990**
【B－１】　負　債　の　部			
１ 流動負債			
1年以内返済長期借入金		19,800,000	
日本政策金融公庫	16,800,000		
一般社団法人あおい福祉AI研究所	3,000,000		
未払金		28,632,480	
役員報酬（令和8年3月分）	925,000		
給料手当（令和8年3月分）	19,290,355		
経費精算	6,325,435		
その他未払金	2,091,690		
未払費用		36,157,760	
業務準委任　業務委託料（令和8年3月分）	12,370,277		
その他未払費用	23,787,483		
未払助成金		154,157,692	

ファミリーマート&むすびえ2025年度 こども食堂スタート応援助成プログラム 冬期スタートプラン	4,612,347		
2025年度（令和7年度）助成「山口淑子友愛基金」助成金	180,000		
2025年度　こども食堂・学校架け橋プロジェクト 「こども食堂を通じた地域探究学習」プログラム	1,453,161		
JANPIA 休眠預金活用事業 2022年度通常枠 地域の居場所のトータルコーディネート事業	147,912,184		
前受金		140,140	
事業収益	139,590		
防災マニュアル購入代金	550		
預り金		32,327,629	
士業源泉所得税	180,546		
報酬源泉所得税	74,770		
住民税	1,073,800		
助成金の原資	30,998,513		
仮受金		1,524	
誤入金返還予定額	1,524		
未払法人税等		70,000	
令和8年3月期確定申告分	70,000		
未払消費税等		3,692,600	
令和8年3月期確定申告分	3,692,600		
流動負債合計　・・・③			**274,979,825**
2　固定負債			
長期前受金		83,826,800	
JANPIA 休眠預金活用事業 2023年度通常枠 居場所のインパクト可視化を通じた地域活性化事業 居場所と地域のエコシステムの同時強化事業 返還	83,826,800		
役員借入金		170,000,000	
	170,000,000		
長期借入金		142,400,000	
一般社団法人あおい福祉AI研究所	27,000,000		
個人	100,000,000		
日本政策金融公庫	15,400,000		
固定負債合計　・・・④			**396,226,800**
【B－1】負　債　合　計　③+④			**671,206,625**
【B－2】正　味　財　産　合　計　【A】－【B－1】			**628,908,365**

書式第18号（法第28条関係）

事業報告用

2025年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ

1　確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

✓以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
✓各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2　役員一覧

	役名 どちらかに○	（フリガナ） 氏名	[redacted]	前事業年度内の就任期間	報酬を受けた期間 （該当者のみに記入）
1	（理事）・監事	ユアサ マコト 湯淺　誠		2025年 4月 1日 ～ 2025年 6月 16日	年 月 日 ～ 年 月 日
2	理事・（監事）	イナムラ ヒロト 稲村　宥人		2025年 4月 1日 ～ 2026年 3月 31日	2025年 6月 16日 ～ 2026年 3月 31日
3	（理事）・監事	シブヤ マサト 渋谷　雅人		2025年 4月 1日 ～ 2025年 6月 16日	年 月 日 ～ 年 月 日
4	（理事）・監事	ミシマ　リエ 三島　理恵		2025年 4月 1日 ～ 2026年 3月 31日	2025年 6月 16日 ～ 2026年 3月 31日
5	（理事）・監事	キム ヤンホー 金　洋浩		2025年 4月 1日 ～ 2026年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
6	（理事）・監事	マエダ ノリコ 前田 典子 （遠藤典子）		2025年 6月 16日 ～ 2026年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
7	（理事）・監事	ニッタ ノブユキ 新田 信行		2025年 6月 16日 ～ 2026年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
8	（理事）・監事	バンノ トモユキ 番野 智行		2025年 6月 16日 ～ 2026年 3月 31日	年 月 日 ～ 年 月 日
9	理事・監事			年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日

書式第４号（法第１０条・第２８条関係）

設立・事業報告用

社員名簿（社員のうち１０人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ

	氏　　名
1	湯浅　誠
2	稲村　宥人
3	渋谷　雅人
4	三島　理恵
5	金　洋浩
6	六鹿　篤美
7	鈴木　桂子
8	薬師寺　亨
9	山縣　郁子
10	前田　典子 （遠藤　典子）

[redacted]